第 28 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 関連企画・日本眼科医会 社会適応訓練講習会

MORIOKA 2019

デジタルロービジョンケア実践研修会

iPhone・iPad の活用で視覚障害者の「わかる・できる」を広げる!!

聴講無料
事前申込不要

情報障害・移動障害ともいわれる視覚障害があるからこその ICT 機器の活用について眼科医と当事者が経験と思索をもとに「熱く(?)」語ります!!

視覚からの情報を入手することは活動や情動を豊かにするために非常に重要です。そのため、文字や人の表情や風景、その他の様々な視覚刺激が入らない／入りにくい状況になると、生活活動の低下や意欲の減退などさまざまな影響をもたらすことが指摘され、いわゆる生活不活発病の発生も懸念されています。一方で、昨今の情報通信（ICT）技術の急激な進化や ICT 機器の登場は、一般の人以上にロービジョン当事者の生活の質（QOL）の向上をもたらしてくれています。しかし、そのような情報をロービジョンケアに採り入れている眼科医や視能訓練士は、全国的にみても決して多くはありません。さらに眼科医療との連携が望まれる社会福祉や教育関係の専門職、さらには一般の人たちにもそれほど浸透していないのが実情です。

そこで、デジタルロービジョンケアの促進による当事者の QOL 向上を図るため、眼科医療関係者をはじめとする支援者、ロービジョン当事者やその家族の方々がデジタルロービジョンケアの意義や重要性について基本的な視点と生活場面での活用の実際を学ぶ研修会を開催することにしました。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

日　時　2019 年 7 月 28 日（日）　14 時 00 分～15 時 40 分 ※13 時 45 分～開場

会　場　盛岡市民文化ホール　小ホール

住所　岩手県盛岡市盛岡駅西通 2-9-1　　電話　019-621-5100

交通　JR 盛岡駅より東西自由通路(さんさこみち)経由　徒歩 3 分

内　容　基調講演：**デジタルロービジョンケアの意義と実際を眼科医が知ることの重要性**

講師　三宅 琢（神戸アイセンター病院眼科医、産業医、（株）Studio Gift Hand 代表）

当事者による実践紹介：**iPhone・iPad を私はこんなことに活用しています**

視覚障害になった経過や現在の視機能が異なる 3 人のプレゼンターが、仕事や余暇など生活場面での活用方法をご紹介します。

クロストーク：**4 人の演者と参加者による情報交換**

進行　平塚 義宗（順天堂大学眼科・日本眼科医会）、早坂 朗（紫波中央眼科・岩手県眼科医会）

参加費　**無料** ※ただし、日本眼科学会専門医制度生涯教育単位取得希望の眼科医は 1,000 円。会場受付でご納入ください。お釣りが要らないようにご準備いただけると助かります。

主　　催

第 28 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会事務局／
岩手県眼科医会／日本眼科医会／視覚障害リハビリテーション協会

お問い合わせ先

第 28 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会 事務局
宮城県仙台市青葉区中央 2 丁目 4-11 水晶堂ビル 2 階 さど眼科内
メール　taikai.morioka@jarvi.org　電話　080-2821-6416

事務局スタッフはいずれも本務のかたわらボランティアで開催準備に取り組んでおり、専門の職員はおりません。そのため、電話でのお問い合わせに応じることが難しい状況です。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします

あわせて開催　**入場無料**

視覚障害者向け生活用具・機器展示会

日時　7/27（土）　12 時～17 時
　　7/28（日）　9 時～14 時

会場　盛岡地域交流センター（マリオス）
　　18 階　会議室

※デジタルロービジョンケア実践研修会の会場と同じ建物です。

第 28 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会の特別講演やシンポジウムなどのプログラムに参加するには、参加登録と参加費の納入が必要です。詳しくは第 28 回視覚障害リハビリテーション研究発表大会ホームページをご覧ください。